

平成20年度

農作物病害虫発生予察8月月報

平成20年(2008年)9月2日
山口県病害虫防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
8.1	29.0	27.2	1.8	34.9	32.0	2.9	24.7	23.2	1.5
8.2	29.0	27.1	1.9	34.7	31.9	2.8	24.7	23.2	1.5
8.3	29.3	26.9	2.4	34.1	31.7	2.4	26.4	23.2	3.2
8.4	26.6	26.7	△ 0.1	30.8	31.4	△ 0.6	23.4	23.2	0.2
8.5	24.8	26.4	△ 1.6	29.8	30.9	△ 1.1	20.5	22.7	△ 2.2
8.6	24.7	25.8	△ 1.1	29.4	30.6	△ 1.2	21.6	22.0	△ 0.4
平均・計	27.1	26.7	0.4	32.2	31.4	0.8	23.5	22.9	0.6
月・半旬	平均湿度(%)			降水量(mm)			日照時間(h)		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
	8.1	71	76	△ 5	6.5	25.8	△ 19.3	45.5	34.9
8.2	69	77	△ 8	0.5	25.9	△ 25.4	39.5	34.2	5.3
8.3	71	77	△ 6	5.0	28.6	△ 23.6	37.6	32.4	5.2
8.4	79	78	1	40.5	33.3	7.2	18.2	30.7	△ 12.5
8.5	72	78	△ 6	54.0	33.7	20.3	31.3	29.6	1.7
8.6	82	77	5	87.5	35.2	52.3	19.4	36.0	△ 16.6
平均・計	74	77	△ 3	194.0	182.5	11.5	191.5	197.8	△ 6.3

II 作物の生育状況

- (1) イネ : 出穂期は早く、特に5月下旬～6月上旬植えて早い傾向があった。
- (2) ダイズ : 生育は良好であった。
- (3) カンキツ : 果実の肥大は平年並みであった。

Ⅲ 病害虫の発生概況

1 普通作物

2008年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
イネ 葉いもち	中旬の巡回調査では、発生ほ場率9.5% (平年26.6%)、発病株率0.6% (平年8.7%)、発病度0.1 (平年2.2) で平年に比べ少なかった。	県内全域	少 2,237
穂いもち	初発生は8月11日 (平年8月13日) に阿東町徳佐で認められ、平年並みであった。 中旬の巡回調査では、発生ほ場率4.6% (平年7.2%)、発病株率0.2% (平年1.0%)、発病穂率0.01% (平年0.07%) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率14.5% (平年19.2%)、発病株率2.0% (平年4.2%)、発病穂率0.1% (平年0.3%) で平年並みであった。	県内全域	少 3,356
紋枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率15.1% (平年32.1%)、発病株率2.0% (平年5.1%)、発病度0.6 (平年1.6) で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率26.5% (平年37.3%)、発病株率3.4% (平年6.3%)、発病度1.6 (平年2.3) で平年に比べやや少なかった。 発病最上葉鞘位の平均は2.3 (平年2.2) であった。	県内全域	中 280 少 5,872 計 6,152
ごま葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年4.3%)、発病株率3.4% (平年2.4%)、発病度0.9 (平年0.7) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率18.1% (平年7.3%)、発病株率4.8% (平年3.7%)、発病度1.2 (平年1.0) で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 559 少 3,635 計 4,194
縞葉枯病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率10.5% (平年0.5%)、発病株率0.8% (平年0.02%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率6.0% (平年0.4%)、発病株率1.4% (平年0.04%) で平年に比べ多かった。 7月18日～8月1日に行った病害虫防除員による調査の結果、発生ほ場率は33.2% (調査ほ場数235) であった。なお、発生は北浦及び県西部で多い傾向があった。	県内全域	少 2,517

2008年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ もみ枯細菌病	初発生は8月27日(平年8月25日)に田布施町城南で認められ、平年並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率2.4%(平年0.7%)、発病穂率0.01%(平年0.003%)で平年に比べやや多かった。	田布施町 下関市	少 559
内穎褐変病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率71.1%(平年60.8%)、発病穂率4.1%(平年2.9%)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 2,237 少 14,262 計 16,499
黄化萎縮病 白葉枯病 萎縮病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—
ツマグロヨコバイ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率39.5%(平年29.5%)、10株当たり虫数1.3頭(平年1.7頭)で平年並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率31.3%(平年23.8%)、10株当たり虫数1.9頭(平年1.2頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 280 少 9,228 計 9,508
セジロウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率61.6%(平年56.4%)、10株当たり虫数13.7頭(平年10.8頭)で平年並みであった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率53.0%(平年30.2%)、10株当たり虫数3.4頭(平年1.6頭)で平年に比べやや多かった。	県内全域	中 559 少 14,262 計 14,821
トビイロウンカ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率1.2%(平年19.2%)、10株当たり虫数0.01頭(平年9.0頭)、10株当たり短翅成虫数0頭(平年0.3頭)で平年に比べやや少なかった。下旬の巡回調査では、発生ほ場率3.6%(平年21.9%)、10株当たり虫数0.014頭(平年7.5頭)、10株当たり短翅成虫数0頭(平年0.3頭)で平年に比べやや少なかった。県内でトビイロウンカによる坪枯れは確認していない。	県内全域	少 839

2008年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
イネ コブノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率32.6% (平成62.6%)、被害株率2.9%(平成21.0%)、被害葉率0.1%(平成1.8%)で平年に比べやや少なかった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率45.8% (平成61.2%)、被害株率6.6%(平成22.8%)、被害葉率0.3%(平成2.0%)で平年に比べ少なかった。 山口市大内の県予察ほ場の払い出し調査では、8月1半旬及び6半旬に成虫最盛期を確認した。	県内全域	中 280 <u>少 10,347</u> 計 10,627
斑点米カメムシ類	中旬の巡回調査(出穂ほ場)では、発生ほ場率36.4%(平成37.2%)、20回すくい取り虫数0.80頭(平成0.78頭)で平成並みであった。 下旬の巡回調査(出穂ほ場)では、発生ほ場率37.8%(平成30.7%)、20回すくい取り虫数0.68頭(平成0.57頭)で平年に比べやや多かった。ケヘリカメムシ及びアスジカスカメの発生はやや多かった。 予察灯(県内4か所、7月6半旬～8月5半旬合計)の誘殺数はアスジカスカメ、ケヘリカメムシともに平年に比べやや多かった。	県内全域	中 2,342 <u>少 5,037</u> 計 7,379
イモジセリ (イネトムシ)	中旬の巡回調査では、発生ほ場率17.4% (平成16.3%)、10株当たりつと数0.27個 (平成0.29個)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率7.2% (平成4.7%)、10株当たりつと数0.11個 (平成0.08個)で平成並みであった。	県内全域	中 280 <u>少 3,915</u> 計 4,195
ニカメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.5%)、被害株率0%(平成0.04%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成0.7%)、被害株率0%(平成0.04%)で平成並みであった。 予察灯による第1世代の成虫誘殺数が少なかったため、最盛期は不明確であった。	—	—

2008年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ダイズ べと病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年7.6%)、発病株率35.4% (平年3.3%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 33 少 263 計 296
葉焼病・斑点細菌病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平年32.0%)、発病株率16.2% (平年19.2%) で平年並みであった。	県内全域	少 164
白絹病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平年1.5%)、発病株率1.3% (平年0.1%) で平年に比べ多かった。	県内全域	中 33 少 131 計 164
吸実性カミシ類	中旬の巡回調査では、発生ほ場率61.9% (平年41.2%)、1㎡当たり虫数0.28頭 (平年0.17頭) で平年に比べやや多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率57.1% (平年40.8%)、1㎡当たり虫数0.18頭 (平年0.21頭) で平年並みであった。 優占種は仔モンジカミシ、ホリカミシであった。	県内全域	少 230
ハスモンヨトウ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平年15.8%)、1 a 当たりの白変葉か所数0.3か所 (平年0.3か所) で平年並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年37.6%)、1 a 当たり葉の白変葉か所数1.1か所 (平年0.9か所)、25株当たり虫数は5.3頭 (平年2.8頭) で平年に比べやや多かった。 県内4か所のフェロモントラップにおける7月5半旬～8月4半旬の誘殺数は平年並みであった。	県内全域	甚 33 中 66 少 197 計 296
ウコンノメイガ	中旬の巡回調査では、発生ほ場率28.6% (平年30.4%)、被害株率10.7% (平年2.8%) で平年に比べ多かった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率42.9% (平年40.2%)、被害株率9.3% (平年4.4%) で平年に比べ多かった。	県内全域	甚 33 中 99 少 164 計 296
マメヒメサヤムシガ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率4.8% (平年8.1%)、25株当たり被害か所数0.1 (平年0.2) で平年並みであった。	県内全域	少 33

注1) イネ紋枯病の発病最上葉鞘位の平均の平年値は、過去8年の平均値である。

注2) ダイズは営農組合等の管理ほ場を主体に調査した。

注3) ダイズの面積は8月15日現在の市町調べ面積を基に算出した。

2 果樹

2008年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積(ha)
カンキツ (調査ほ場数:22) 黒点病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率100% (平成99.6%)、発病果率29.4%(平成 63.0%)、発病度4.4(平成12.3)で平成に 比べ少なかった。	県内全域	中 253 少 1,517 計 1,770
かいよう病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率19.0% (平成24.1%)、発病果率0.9%(平成4.2 %)、発病度0.2(平成1.4)で平成に比べ やや少なかった。	県内全域	少 337
ミカンハダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率54.5% (平成25.0%)、寄生葉率9.5%(平成2.8 %)で平成に比べ多かった。要防除水準 に達したほ場は13%であった。	県内全域	多 80 中 161 少 724 計 965
チャノキアザミマ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率23.8% (平成45.9%)、被害果率0.7%(平成2.2 %)、被害度0.2(平成0.5)で平成に比べ やや少なかった。	県内全域	中 84 少 337 計 421
ナマルカケラムシ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率33.3% (平成24.5%)、寄生果率2.3%(平成1.4 %)で平成に比べやや多かった。	県内全域	多 84 中 84 少 421 計 590
ミカンヒゲダニ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平 年5.4%)、被害果率0%(平成0.2%)で平 年並みであった。	県内全域	—
果樹全般 カメムシ類 (チャバネアカカメムシ、ツ ヤアカカメムシ、クサギカ メムシ)	8月1半旬～8月5半旬の予察灯(5か所計) における誘殺数は383頭(平成834頭)で平 年並みであった。優占種はチャバネアオ カメムシであった。 8月のフェロモントラップ(4か所計)に おけるチャバネアオカメムシ誘殺数は平 年並みであった。	県内全域	—

(参考)8月のチャバネアカカメムシフェロモントラップ誘殺数

	2008年	2007年	2006年	2005年	2004年	2003年	2002年
阿東	43	6	276	0	5009	0	1293
秋芳	71	22	3308	0	9535	0	7723
山口落試※1	74	68	186	2	212	1	1522
山口農試※2	91	44	322	—	1746	1	881

※1農林総合技術センター落葉果樹試験地
※2農林総合技術センター本場

注) カンキツのチャノキアザミマ、ナマルカケラムシ、ミカンヒゲダニの調査ほ場数は21ほ場である。

3 野菜

2008年8月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)																												
イチゴ (調査ほ場数:35) 炭疽病	8月18日～27日に行った病害虫防除員による調査の結果、発生ほ場率60.0% (前年73.3%)、発病株率6.2% (前年9.3%)であった。品種別の発病株率は、「さちのか」4.8%、「とよのか」7.8%、「とちおとめ」6.6%であった。	県内全域	甚 7 多 3 中 10 少 49 計 69																												
アブラナ科野菜 コナガ	山口市大内のフェロモントラップにおける8月の誘殺数は、2頭(平年7頭)で平年に比べやや少なかった。	—	—																												
野菜全般 アブラムシ類	山口市大内の黄色水盤における8月の誘殺数は、180頭(平年220頭)で平年並みであった。	—	—																												
野菜全般 ハスモンヨトウ	山口市大内のフェロモントラップにおける8月の誘殺数は3,140頭(平年3,258頭)で平年並みであった。 【参考】 フェロモントラップ 7月5半旬～8月4半旬誘殺数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>地点</th> <th>本年 (頭)</th> <th>平年 (頭)</th> <th>概 評</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>岩国市周東町</td> <td>311</td> <td>347</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>周南市</td> <td>2,079</td> <td>1,782</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>阿東町</td> <td>960</td> <td>922</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>萩市</td> <td>165</td> <td>263</td> <td>平年並</td> </tr> <tr> <td>下関市</td> <td>691</td> <td>1,761</td> <td>やや少</td> </tr> <tr> <td>柳井市</td> <td>1,172</td> <td>3,264</td> <td>前年より少</td> </tr> </tbody> </table> ※下関市と柳井市は8月1半旬～8月6半旬の合計 下関市の平年値は過去4年の平均値 柳井市は前年値との比較。	地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概 評	岩国市周東町	311	347	平年並	周南市	2,079	1,782	平年並	阿東町	960	922	平年並	萩市	165	263	平年並	下関市	691	1,761	やや少	柳井市	1,172	3,264	前年より少	—	—
地点	本年 (頭)	平年 (頭)	概 評																												
岩国市周東町	311	347	平年並																												
周南市	2,079	1,782	平年並																												
阿東町	960	922	平年並																												
萩市	165	263	平年並																												
下関市	691	1,761	やや少																												
柳井市	1,172	3,264	前年より少																												
オオタバコガ	山口市大内のフェロモントラップにおける8月の誘殺数は10頭(平年9頭)で平年並みであった。	—	—																												
シロイチモジヨ トウ	山口市大内のフェロモントラップにおける8月の誘殺数は71頭(平年51頭)で平年並みであった。	—	—																												

お問い合わせは山口県病虫害防除所へどうぞ

電 話	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 0 6
F A X	0 8 3 - 9 2 7 - 4 0 7 1
テレホンサービス	0 8 3 - 9 2 7 - 4 6 4 9

作物	担当者
普通作	藤村 (病害) 中川 (虫害)
果 樹	村本 (病害) 殿河内 (虫害)
野 菜	岡田 (病害) 溝部 (虫害)